

新刊案内

2024年6月～2025年10月

株式会社 新典社



学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間

2025年12月25日まで

割引価格

全品表示価格より**2割引**

送料

発送は日本国内のみ、送料は全国一律で715円（税込）

お支払い方法

書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。
また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、
ご都合のよろしい方法でお支払いください。
振込手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

ホームページ (<https://shintensha.co.jp/>)

⇒お問い合わせ⇒学会会員様注文用

メール: info@shintensha.co.jp

FAX: 03-6701-2470

郵送: 〒134-0015

東京都江戸川区西瑞江4-21-28

お問い合わせ

メール: info@shintensha.co.jp

FAX: 03-6701-2470

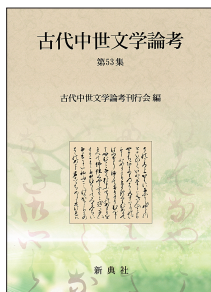
郵送: 〒134-0015

東京都江戸川区西瑞江4-21-28

ご注文時の注意点 ※必ずご確認ください

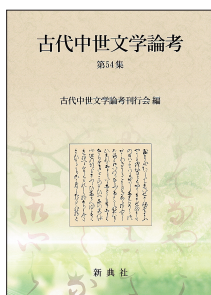
- ・書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよいか）をお知らせ下さい。
- ・送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認のうえ、お問い合わせ下さい。

新典社ホームページ <https://shintensha.co.jp/>



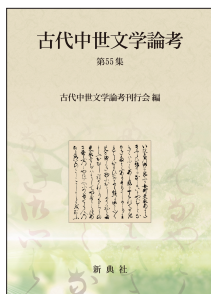
古代中世文学論考 第53集 古代中世文学論考刊行会 編
『古今集』雑牀の部と巻二十の構造 平沢竜介／軒端茨にたとえた由縁 加藤伸江／『堤中納言物語』「虫めづる姫君」の「白き袴」 馬場淳子／承久の乱後をいかに詠むか 村瀬空／宗祇『種玉編次抄』の注釈態度 川淵紗佳／野田忠肅『夜夢想』翻刻と解題 梅田径／翻刻『三家類題抄』（後篇） 三村晃功

ISBN978-4-7879-3553-3 A5判上製 288頁 7370円



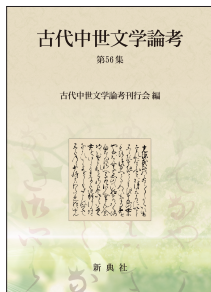
古代中世文学論考 第54集 古代中世文学論考刊行会 編
『懷風藻』版本の改訂とその依拠資料 土佐朋子／兼家妻から道綱母へ 八木優奈／一条天皇を指して「誰か…」と詠む歌 坪美奈子／「秋までは見じ」との乖離 田嶋知子／夕霧の「涙の玉」 高倉明樹子／『代始和抄』一本文・簡校・解題一 武井和人

ISBN978-4-7879-3554-0 A5判上製 280頁 7150円



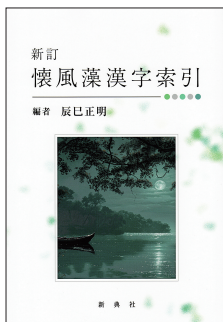
古代中世文学論考 第55集 古代中世文学論考刊行会 編
『古今集』賀の部、離別の部、羈旅の部、物名の部の構造 平沢竜介／『枕草子』の成立についての試論 赤間恵都子／『源氏物語』「袖ぬるこひち」の行方 太田美知子／『夜の寝覚』第一部における対の君のダブルバインドについて 前田みどり／『太平記』における卜部兼員説の位相 坂井彪／『雲隠六帖』匂宮は出家するか 中井賢一／芥川龍之介『本所両国』の方丈記享受について 岡山高博／京大本『後撰集註・拾遺集註』 武井和人／『落窪の草子』伝本考 福田清夏

ISBN978-4-7879-3555-7 A5判上製 336頁 8580円



古代中世文学論考 第56集 古代中世文学論考刊行会 編
『古事記』スサノヲ再論 小村宏史／「人の子」をめぐる贈答と、恋 坪美奈子／『源氏物語』における「遣水」の表現 後藤柊斗／『紫式部集』讃美の言葉と表現 佐藤有貴／逃げる女 大村美紗／〈医術〉としての「中臣祓」 小田島良／『定家卿筆道』序文からの考察 福原真子／学習院本『梅松論』（伝梵舜筆、尾州徳川家旧蔵） 石澤一志／就実大学附属図書館蔵『西三条殿御息女御教訓の文章のよし』について 筒井梨紗

ISBN978-4-7879-3556-4 A5判上製 336頁 8580円



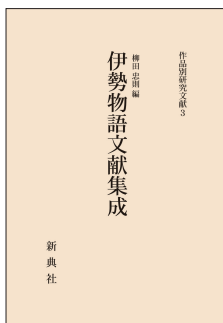
新訂 懷風藻漢字索引

辰巳正明 編

懷風藻漢字索引〔本文篇〕 凡例／懷風藻漢字索引〔索引篇〕 凡例・部首索引／跋

＊不比等や大津皇子らの漢詩を収めた懷風藻。群書類従版を底本に、天和・宝永・寛政版本と校合して校訂本文を定め、部首による漢字検索も可能とした。精緻な読解をサポートする待望の新訂版。

ISBN978-4-7879-0654-0 A5判並製 224頁 2750円



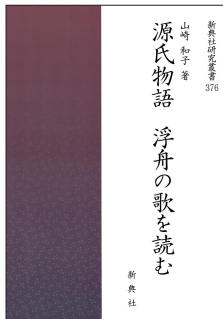
伊勢物語文献集成

柳田忠則 編

凡例／第一部 伊勢物語文献集成／第二部 人名索引／あとがき

＊明治九年より平成二十年に至る間に刊行された伊勢物語に関する膨大な文献と論文を集成した。第二部には人名索引を付す等、知の蓄積を存分に活用するための工夫が凝らされた一冊。

作品別研究文献3 ISBN978-4-7879-2723-1 A5判上製 744頁 26400円



源氏物語 浮舟の歌を読む

山崎和子 著

第一章 歌から「浮舟物語」を読む 「峰の雨雲」歌考／浮舟巻の歌の機能について／浮舟の辞世歌／浮舟出家時の連作歌／「袖ふれし人」歌考／「尼衣」歌考／浮舟の「世の中にあらぬところ」考／第二章 作中人物を読む 大君の死／右近は一人か否か

＊浮舟が詠む歌は物語と密接に連携し、薫と匂宮との間で懊悩した浮舟の人生を予兆するものでもあった。源氏物語に登場する女君において最多の歌を詠んだ浮舟の歌から浮舟物語の構造を考える。

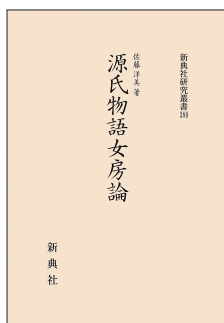
新典社研究叢書376 ISBN978-4-7879-4376-7 A5判上製 232頁 8140円



源氏物語と「うた」の文脈 —— 連想と変容 ——

平田彩奈恵 著

第一部 『源氏物語』における歌ことば表現 『蜻蛉日記』下巻の歌ことば表現／朱雀院と「この道」／末摘花巻における「色こきはなと見しかども」／『源氏物語』の「垣」と「なでしこ」／他／第二部 後世における『源氏物語』受容 『狭衣物語』における「見えぬ山路」／梅翁源氏における引歌／田辺聖子『新源氏物語』における「闇」／宝塚歌劇『源氏物語千年紀 夢の浮橋』にみる『源氏物語』受容
新典社研究叢書377 ISBN978-4-7879-4377-4 A5判上製 304頁 10780円



源氏物語女房論

佐藤洋美 著

『源氏物語』における女房研究の現在と本書の構成／Ⅰ 物語をひらく女房 王命婦論／女三の宮の十二人の女房／「今参り」考／Ⅱ 主人をかたどる女房 大輔命婦の人物設定／侍従の誓い／中納言の君の代作／Ⅲ 女房がつなぐもの 犬君のゆくえ／渡殿の戸口の紫の上／よるべなき中将の君／Ⅳ 女官が見つめるもの 「春宮の宣旨なる典侍」論／藤典侍論

新典社研究叢書380 ISBN978-4-7879-4380-4 A5判上製 288頁 10230円



古典の畏怖・恐怖と倫理観

古屋明子 著

第一章 「畏怖・恐怖」と古典に表れた「倫理観」について／第二章 古典に描かれた天皇像について／第三章 『古事記』の「カシコシ」と「カシコム」／第四章 『日本書紀』の「威・可畏・伽之古俱／箇辞古者」と「懼・怖・惶」／第五章 『竹取物語』における「かしこし」「はづかし」「人笑へ」／第六章 『伊勢物語』における「はづかし」「つらし・くるし・心ぐるし」／第七章 『源氏物語』の「恐ろし」と儒教的罪責意識／他3章

新典社研究叢書383 ISBN978-4-7879-4383-5 A5判上製 280頁 9900円



源氏物語 女性たちの愛と哀

原槇子 著

第一章 光源氏を産んだ女性・桐壺更衣／第二章 光源氏に影響を与えた女性論／第三章 光源氏が愛した女たち

＊光源氏の華やかな恋愛遍歴と人間模様が描かれた源氏物語。光源氏と女性たちが互いに絡み合いながら織りなす「愛」と「哀」を、源氏が愛した女性たちの視点から雅びな図版と共に丹念に紐解く。

新典社選書124 ISBN978-4-7879-6874-6 B6判並製 328頁 2860円



文法で味わう『源氏物語』

伊勢光 著

第一章 助動詞 未然形接続の助動詞／連用形接続の助動詞／終止形接続の助動詞／連体形（体言）・その他の接続の助動詞／第二章 助詞／第三章 敬語動詞 尊敬語／謙譲語／丁寧語

＊『源氏物語』において助動詞、助詞、敬語などが効果的に使われている場面を抜粋し、文法に従って楽しく作品を読み解く。文法の知識を習得しながら自然と物語の内容や要諦が掴める画期的な一書。

新典社選書129 ISBN978-4-7879-6879-1 B6判並製 344頁 3025円



旅の歌びと 紫式部

廣田收 著

第一章 『紫式部集』の地名／第二章 『紫式部集』旅の歌群の構成
／第三章 紫式部歌の解釈

＊紫式部の旅の歌を「饗宴歌」と捉えることで、従来の抒情詩的な理解を覆すとともに、当初詠まれた場における意味に対し、家集編纂の場における類聚的な配列による新たな意味付けの可能性を探る。

新典社選書122 ISBN978-4-7879-6872-2 B6判並製 304頁 2640円



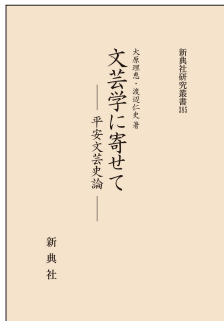
物語としての紫式部

廣田收 著

I 古代の人としての紫式部と藤原道長／II 『源氏物語』はどのように生まれたか・読まれたか／III 紫式部にライバルはいたのか／IV 紫式部は歌が下手なのか／V 『源氏物語』女性たちはどう生きたか／VI まとめ 女房文芸としての『源氏物語』と神話

＊紫式部はなぜ源氏物語を書けたのか。その答えを源氏物語、紫式部日記、紫式部集から探し作品の中に存在する紫式部を見つめ直す。

新典社選書128 ISBN978-4-7879-6878-4 B6判並製 376頁 3300円



文芸学に寄せて —— 平安文芸史論 ——

大原理恵・渡辺仁史 著

第一章 文芸学における作品への問い／第二章 一般文芸学の可能性／第三章 文芸学における言の時間性／第四章 文芸学における価値認識／第五章 素描 岡崎義恵『日本文芸学』の周辺／第六章 菅原道真『雨夜』について／第七章 『古今和歌集』以後と言語の自立性／第八章 平安仮名文芸の基層としての語らい／第九章 「打開き」の系譜／第十章 『枕草子』の赤き薄様／他9章

新典社研究叢書385 ISBN978-4-7879-4385-9 A5判上製 392頁 13860円



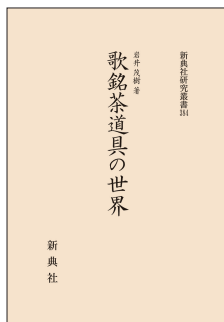
藤原定家と式子内親王 —— 恋物語の生成と展開 ——

天野聡一 著

第一章 史実の二人／第二章 伝承の生成／第三章 名作の誕生／第四章 謡曲「定家」の後続作／第五章 恋する斎院／第六章 道成寺物への変転／第七章 時雨の亭の在処／第八章 振られる定家／第九章 定家の沓冠／第十章 感嘆する俊成

＊伝承の世界にしか存在しない定家と式子の恋。二人の詠歌を原動力に、絶えず伝承を生成・展開していく物語的想像力の系譜に迫る。

新典社研究叢書382 ISBN978-4-7879-4382-8 A5判上製 336頁 11880円

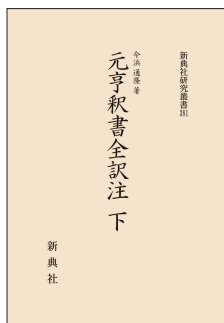


歌銘茶道具の世界

岩井茂樹 著

第一章 歌銘茶道具の種類と特徴／第二章 小堀遠州の歌銘茶道具の特徴／第三章 松平不昧（一七五一～一八一八）の場合／第四章 遠州と不昧の違い／第五章 歌銘と香銘の違い／第六章 『百椿集』の場合／第七章 謡曲の世界

＊歌銘が付された茶道具に関して具体的かつ詳細なデータ分析を行い、茶の湯における和歌の役割や茶人たちの思想を歌銘から見直す。またこの研究により香や椿、謡曲の世界観の一端をも明確化される。
新典社研究叢書384 ISBN978-4-7879-4384-2 A5判上製 592頁 20900円

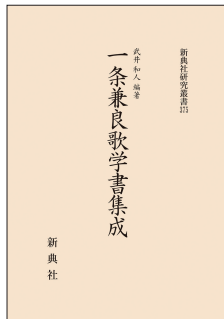


元亨釈書全訳注 下

今浜通隆 著

巻第二十一～巻第二十六 資治表二～資治表七／巻第二十七～巻第三十 志一～志四／跋文（慶長本奥書）／第二度表／項目索引

＊鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元亨釈書の全訳注、いよいよ完結。五山文学の先駆的存在・虎関師錬が精魂込めた大作を現代語訳し、注を施す。下巻は巻第二十一から最終巻第三十を収録し、跋文（慶長本奥書）、第二度表、全巻の事項索引も付した。
新典社研究叢書381 ISBN978-4-7879-4381-1 A5判上製 744頁 26290円



一条兼良歌学書集成

武井和人 編著

『歌林良材集』一釈文・簡校・解題—／『一禅御説』一釈文・校異・解題—／『和秘抄』一釈文・校異・解題—／『柿本備材抄』一釈文・校異・解題—／『八雲謠註』一釈文・校異・解題—

＊一条兼良の歌学書を集成する。歌林良材集・一禅御説・柿本備材抄、及び未翻刻資料である和秘抄・八雲歌註の本文・校異を収める。解題において、これらの歌学書に通底する兼良の編纂過程に迫った。
新典社研究叢書375 ISBN978-4-7879-4375-0 A5判上製 616頁 21780円



新作薫物の研究 附・中世近世薫物資料集成

田中圭子 著

序章 新作薫物とは何か／第一章 研究篇 京都大学附属図書館菊亭文庫所蔵『薫物秘蔵抄』及び『薫物各様』／第二章 資料篇 徳川林政史研究所所蔵『薫物之方』／陽明文庫所蔵『焼物之方』／専修大学図書館菊亭文庫所蔵『万方』及び『香具撰様調様』／京都大学附属図書館菊亭文庫所蔵『江戸下向雑々覧』

＊室町時代以降の日本で独自に考案された新作薫物。七点の秘伝書にその発祥と継承を追い、薫物文化の知られざる領域に光をあてる。
新典社研究叢書378 ISBN978-4-7879-4378-1 A5判上製 976頁 33000円

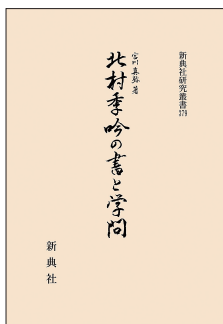


幕末期の笑話本 可楽から其水・円朝へ 宮尾奥男 著

笑話本研究序説／Ⅰ 幕末期の笑話本／Ⅱ 三題噺とはなにか／Ⅲ 三題噺の復活／図版一覧・三十図／Ⅳ『粹興奇人傳』の人たち／Ⅴ 河竹其水の三題噺／Ⅵ 三遊亭円朝の三題噺／Ⅶ 其水作の三題噺「鯉沢」を読む／付『春色三題噺二編』と『圓朝全集』の本文校勘

＊三笑亭可楽の笑話と三題噺の会、そして河竹其水（新七・黙阿弥）と三遊亭円朝の三題噺を追究。笑話本史の幕末期をあきらかにする。

新典社選書 126 ISBN978-4-7879-6876-0 B6判並製 496頁 4510円



北村季吟の書と学問 宮川真弥 著

第一章 季吟の花押更改／第二章『徒然草拾穂抄』と貞徳説／第三章 季吟奥書『源語秘訣』と如庵箕形宗乾／第四章『源氏物語微意』と季吟の源氏学／第五章『源氏物語打聞』と北村家の学問

＊注釈書や歳時記の刊行によって日本古典文学の大衆化に多大な貢献をした北村季吟。商業出版によるメディア変革期の寵児である季吟の学問の実態を、公にしなかった写本の分析により明らかにする。

新典社研究叢書 379 ISBN978-4-7879-4379-8 A5判上製 432頁 15400円



元禄名家句集略注 富尾似船篇

伊藤善隆・竹下義人・池澤一郎・佐藤勝明・玉城司 著

はじめに／富尾似船略歴／注釈／凡例／付録／富尾似船年譜／出典俳書略解題／初句索引／語彙索引／あとがき

＊元禄俳諧の名家を現代語訳・語釈するシリーズ第二期。本書では、貞門から談林に俳風を転じ、仮名草子や地誌まで手掛けた多才な富尾似船の句を集成する。年譜、索引に加えて出典俳書略解題を付す。

ISBN978-4-7879-0656-4 A5判並製 360頁 3960円



元禄名家句集略注 菅野谷高政・田中常矩・浜川自悦篇

佐藤勝明 著

はじめに／菅野谷高政・田中常矩・浜川自悦略伝 俳諧活動のあり方を中心に／注釈／凡例／付録／菅野谷高政・田中常矩・浜川自悦年譜／入集俳書略解題／既刊分の補足・訂正・追加／初句索引／語彙索引／高政・常矩・自悦の作句手法—あとがきに代えて

＊元禄俳諧の現代語訳・語釈シリーズ第二期。京都談林を代表する菅野谷高政・田中常矩・浜川自悦の句を集成。年譜、解題、索引付。

ISBN978-4-7879-0659-5 A5判並製 368頁 4048円



一冊で味わう与謝野晶子訳『源氏物語』 伊勢光 著

第一部 桐壺帝の物語／若き光源氏の恋／葵の上の死、紫の上との結婚／窮地に立つ源氏／光源氏、須磨・明石へ／帰京、女たちを助ける／明石の姫君を紫の上の養女に／源氏の権力掌握／浮かばれない藤壺／玉鬘の物語／光源氏の栄華、極まる／**第二部** 光源氏、女三の宮と結婚／相対化される光源氏世界／女三の宮と柏木の密通／夕霧の恋／男女主人公の退場／**第三部** 二人の主人公／大納言の姫君の物語／玉鬘の娘の物語／宇治の物語

ISBN978-4-7879-0655-7 A5判並製 352頁 3850円



一冊で読む晶子源氏 伊勢光・加藤孝男 編著

光源氏の物語 光源氏の生い立ち（桐壺）／はかなげな女との恋（夕顔）／若紫の発見（若紫）／若紫との結婚（若紫）／舞う光源氏（紅葉賀）／他／光源氏の子孫の物語 薫、宇治の姉妹を発見（橘姫）／薫、出自を悟る（橘姫）／薫、最愛の女と死別（総角）／薫、中の君に迫る（宿り木）／中の君、薫に妹を紹介（宿り木）／他

＊与謝野晶子訳源氏物語のエッセンスを晶子研究者と古典文学研究者が一冊に抽出。分かりやすい解説と注を付し名訳で源氏を楽しむ。

新典社選書 125 ISBN978-4-7879-6875-3 B6判並製 264頁 2310円

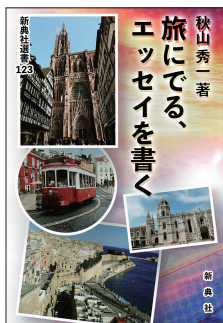


虚無の劇場 —— 古典研究者が読む三島由紀夫文学

伊藤禎子 編

＊三島由紀夫生誕百年の年に古典文学研究者が初期から晩年にわたる三島作品を精読。三島と古典とを往還し、新発見をもたらす。（本書に登場する三島作品：朝倉・菖蒲前・翼・夏子の冒険・禁色・恋の都・沈める滝・金閣寺・近代能楽集・豊饒の海）（執筆者：伊藤禎子・神田龍身・木村朗子・助川幸逸郎・鈴木泰恵・高木信・田島文博・千野裕子・橋本ゆかり・本橋裕美・八島由香・横溝博）

新典社選書 127 ISBN978-4-7879-6877-7 B6判並製 368頁 3190円



旅にでる、エッセイを書く 秋山秀一 著

エッセイを書く／旅が教室 歩きながら、考える／世界旅レポート 「香港」／「自然が教室」元気にたくましく／済州島／鎌ケ谷の自然を訪ねて 鎌ケ谷の中に、柏が……。／随想 セーヌ川遊覧とパリの道／アラン・ドロンとともに 秋山秀一のロケ地探訪 マルセイユ／ラオスの道／マルタ共和国の首都ヴァレッタ／他

＊旅が人生。そう語る旅の達人が約半世紀にわたって体験したこと、見たこと、考えたことを多彩な言葉で綴った、50編のエッセイ集。

新典社選書 123 ISBN978-4-7879-6873-9 B6判並製 208頁 1815円



変体仮名でよむ百人一首 伊藤鉄也・吉村仁志 編

はじめに／変体仮名翻字版について／凡例／表記の異同／上の句索引／下の句索引／付図（五十音図）

＊陽明文庫旧蔵『百人一首』と、国文学研究資料館所蔵『鶴丸紋ち
口し／哥かるた』の二種類の「百人一首かるた」をカラーで掲載。

変体仮名をよむことをテーマに、わかりやすい現代語訳を付した。

ISBN978-4-7879-0658-8 A5判並製 124頁 2640円



学ぶ前にふれる 実践中国語会話練習帳

野村幸一郎 監修／張素娟・丁若思 編著

第1部 入門編／第2部 応用編／第3部 発展編

＊大好評の前書『学ぶ前にふれる 実践中国語練習帳』に続いて、
はじめて中国語に触れるための1冊。入門的な文法事項から日常会話
の基本まで網羅。代表的な日本の文学作品をもとにした例文で、文
全体の流れの中で会話の意味を汲み取る練習も繰り返す。

ISBN978-4-7879-0657-1 A4判並製 120頁 1650円

注文書籍情報記入欄

書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊
書籍名	冊

注文者情報記入欄

私費・公費	書類の宛名【公費】
	請求書 枚 見積書 枚 納品書 枚
日付の有無	有 ・ 無
代表者印の有無	有 ・ 無
送料の記載方法	書籍代に含む・書籍代に含めない
所属学会名	
送付先郵便番号	〒
送付先住所	
送付先電話番号	
送付先受取人名	
備考	